

## 第2回広域行政推進懇談会の概要（他地域調査）

1 開催日 平成12年1月18日 ～ 19日

2 鳥取中部ふるさと広域連合における調査の内容

平成12年1月18日

(1) 広域連合設立の目的・経緯

①広域連合の概要

圏域人口は約12万

構成市町村数 1市9町村

設立年月日 平成10年4月1日

②設立の契機

- ・平成5年に地方拠点都市地域指定から外れたことによる危機感
- ・平成9年2月 検討結果集約 **平成10年広域連合設立の基本的合意**

③広域連合の設立

・新規事務

a) 固定資産評価審査に関する事務

b) 滞納整理に関する事務

c) 休日急患診療所の設置・管理及び病院群輪番制病院の運営に関する事務

d) 鳥取県知事からの権限移譲事務

・火薬類の譲渡、譲受け又は消費等の許可に関する事務

(平成12年4月から、ダイナマイトの設置許可も追加)

・液化石油ガス設備工事の届出の受理に関する事務

④新規事務の執行状況

a) 固定資産評価審査に関する事務

・委員の専門化を図る

b) 滞納整理に関する事務

・県から2名の派遣を受け、市町村から委託を受けた滞納整理に関する事務を行うとともに、納税意識の向上を図るための取組を実施

・12月末の徴収実績：徴収金額ベースで25%程度

過去の圏域での実績：14～15%

・将来的にはすべての滞納処理を実施する（現在は市町村の滞納額の30%を受託）

(2) 広域連合設立後のメリット・デメリット

①メリット

・滞納処理に関しては効果が上がっている

・権限移譲が受けられる点

・効率化（事務が増えているが、以前の一部事務組合と比較して人員は増加していない 来年度から4名増）

②デメリット

・特にない

### 3 篠山市における調査の内容

平成12年1月19日

#### (1) 合併の目的・経緯

##### ①篠山市の概要

周囲を山に囲まれた篠山盆地に広がる多紀郡4町（笹山町、丹南町、西紀町、今田町）が平成11年4月1日合併

人口約4万6千人

##### ②過去の経緯

過去に5回合併協議を行い、いずれも不成立

##### ③今回の合併の契機

平成5年に、篠山地域の共通課題を解決するためには合併が必要であると議長会から町長会へ合併を提案

##### ④合併の検討

平成8年3月に合併研究会発足させ、合併に関する検討を実施。

a)町名 「篠山」を入れる

b)庁舎 規模、設備ともに笹山町が平成2年に建設した新庁舎が適切

c)財政 財産（地方債含む）すべて持ち寄り

d)合併方式 対等合併

e)合併時期 平成11年4月

#### (2) 合併検討過程での県の支援・住民への広報等

##### ①住民への広報

各町での住民説明会は、65回 1800人参加 平均13%の参加率

##### ②県の支援

合併協議会には、県から2名参加

#### (3) 合併に当たっての課題の解決

：新町名 篠山町に決定

：住民サービス 当面現状維持

：市制施行 「市町村の合併の特例に関する法律」が改正され、合併した場合には人口4万人以上で市制施行可能となった。

#### (4) 合併のメリット・デメリット

##### ・メリット

市制施行：企業誘致に有利 市に住む、市で勤めているなどイメージがよい  
地域特性を生かせるようになった

##### ・デメリット

庁舎が狭く、事務所が散在している

デメリットをメリットに変える取組が必要